

「釧路湿原自然再生協議会」

第2回 旧川復元小委員会

資 料

平成16年6月29日

釧路湿原自然再生協議会事務局

釧路湿原自然再生協議会

第2回 旧川復元小委員会

日時：平成 16 年6月29日（火）13:00 ～ 15:00

場所：釧路地方合同庁舎 5階 共用第1会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 議 事

- 1) 釧路湿原の旧川復元計画について
- 2) 既往の調査検討結果（H15年度まで）
- 3) 今後の調査検討方針について（H16年度の予定）
- 4) 全体構想とのかかわり

4. その他

5. 閉 会

釧路湿原自然再生協議会
旧川復元小委員会 委員名簿

計:27名

■個人(11名)

(敬称略、五十音順)

No	氏名	所属
1	内島 邦秀	北見工業大学 工学部 教授
2	内田 泰三	帯広畜産大学 緑地学研究室
3	大山 仁美	環境カウンセラー(事業者部門)
4	神田 房行	北海道教育大学釧路校 教授
5	佐藤 繁治	
6	清水 康行	北海道大学大学院 工学研究科 助教授
7	中村 太士	北海道大学大学院 農学研究科 教授
8	針生 勤	釧路市博物館 館長補佐
9	福田 明美	釧路湿原塾
10	前田 邦男	釧路湿原川レンジャー
11	森 貴子	北海道新聞 釧路支社 報道部記者

■団体(10名)

(敬称略、五十音順)

No	団体名	代表者名
1	釧路カヌー連絡協議会	会長 岩淵 鉄男
2	釧路市漁業協同組合	代表理事組合長 濱 隆司
3	釧路自然保護協会	会長 高山末吉
4	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 山口 功
5	釧路水産用水汚濁防止対策協議会	会長 濱 隆司
6	釧路生物談話会	会長 住吉 尚
7	財団法人 日本生態系協会	会長 池谷 奉文
8	下久著呂地区農業用排水維持管理組合	組合長 八木沢 栄蔵
9	タンチョウ保護調査連合	代表 正富 宏之
10	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 鈴木 順雄

■オブザーバー(3団体)

(敬称略)

No	団体名	代表者名
1	社団法人 十勝釧路管内さけます増殖事業協会	会長 小嶋 孝
2	標茶町農業協同組合	代表理事組合長 門田 功一
3	標茶町商工会	会長 栗田 和行

■関係行政機関(3機関)

(敬称略)

No	機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 神保 正義
2	環境省 東北海道地区自然保護事務所	所長 渡邊 綱男
3	標茶町	町長 今西 猛

議事概要と今後の対応方針～第1回旧川復元小委員会

項目	議事概要	今後の対応方針	備考
全体構想と小委員会の関わりについて	協議会は、全体構想を練り、検討するような雰囲気にはなっていない。小委員会から上がってきたものをまとめるには全体構想をつくる体制が脆弱である。現在の12の再生事業をただたばねただけの全体構想になりかねないと非常に危惧している。特に、旧川復元は釧路湿原や河川区域の中だけではなく最終的に全体として目指す姿の話をしなければならず、そのことを議論する場所がない。	協議会の運営として意見が出やすくする工夫を考えていく。全体構想を合意形成するために議論していかなければならない。それに向けて小委員会の場での意見交換も生かしていけるような体制を考えていく。	
	全体構想で具体的に決め過ぎるとそれに縛られて動けなくなる可能性もあり得る。全体構想の個人の考え方にも相当温度差があり、今の協議会の形で十分な議論を行うことは難しい。例えば小委員会の代表が集まって、全体の構想を見直す等、違う形で各小委員会のすり合わせ的な会を持つ必要がある。	小委員会委員長等で構成する全体構想作成グループを設立し、その中で協議会で議論する全体構想の文案を精力的に作成していく。	
これまでの調査・検討経緯について	過去6回にわたる小委員会での議論の積み重ねは、今後の事業展開に向けての大きな蓄積になっていると感じた。旧川の復元に際して問題となっていた絶滅危惧生物が旧川の中にいるということと、上流の農地に水位上昇の影響が及ぶという2点は、再生区間の再設定と右岸側に積まれた浚渫土砂の除去によりとりあえずクリアできると考えられる。そこで、茅沼地区での事業は実施とモニタリング調査に移行させ、本小委員会での議論は支川への展開についての絞っていったらどうか。また、その際に農業セクションが何らかの形で関わっていけるような体制をとってほしい。	国土交通省北海道開発局釧路開発建設部として農業セクションを含めた形で考えている。委員席に座るかどうかは今後検討していく。	
	今後の課題として、蛇行の部分だけではなく、もう少し上流・下流を含めた形で考えた方がよい。この蛇行だけの狭いところだけを見るのではなく、支流との合流、もしくは農家も含めて、もう一度考えると、流量を下流側で増やした方が、洪水安全対策的にも、農家を守る意味からもよいし、オソベツ川そのものの蛇行流路も復元できるならばメリットがあると思う。	茅沼地区の旧川復元全体計画（フルプラン構想）としてオソベツ川を含めた旧川復元計画について検討する。	
	茅沼地区の堀削試験工事は、事前に協議会や小委員会の中で協議した記憶もなく、フライング的な実験という印象がある。今後、協議会や小委員会ですらに協議されない実験が行われる可能性があるのかを確認したい。	当時、検討委員会である程度議論してきたことについて、全体構想の中に盛り込んでいかなければならないと考えていた。実際当地区が、旧川の部分の土質条件や施工条件が分からないと施工計画は立てようがないと考え、試験的な堀削調査を行った。今後は、実施計画にかかわるものについて、協議会で協議しないで実施することにはならないと考えている。	
今後の調査検討方針について	釧路川水系河川整備基本方針の検討と当協議会の関係はどうなっているのか。釧路川全体のことを議論する場合、別々な検討にならないのではないか。	釧路開発建設部のホームページに経過を載せており、チラシでも広報している。釧路川の川づくりと考えたときに、釧路川は下流に湿原という大きなものがあって、その保全というものが密接にかかわってくるので、検討状況について協議会へも報告し、連携を図っていきたい。	
	茅沼地区の現況等の詳細検討資料を小委員会で提示してもらいたい。	可能な範囲で提示する。（貴重種や個人情報に関するデータは公表しない。～第1回協議会で確認）	

第2回 旧川復元小委員会

資料目次

1. 釧路湿原の旧川復元計画について.....	1
1-1 提言・施策当時における旧川復元の構想.....	1
1-2 釧路湿原の河川環境保全に関する提言・施策について.....	2
1-3 旧川復元実施計画について.....	2
2. 既往の調査検討結果(H15年度まで).....	4
2-1 これまでの調査・検討結果の概要.....	4
2-2 復元河道計画.....	5
2-3 施策実施効果の評価について.....	10
2-4 施工計画.....	16
2-5 現時点の調査・検討の課題のとりまとめ.....	18
3. 今後の調査検討方針について(H16年度の予定).....	19
3-1 現地調査計画.....	19
3-2 解析・検討方針.....	19
4. 全体構想とのかかわり.....	21